

なぜ日本では有機・エコ農業が停滞しているのか

化学肥料・農薬の5割以上低減を行う特別栽培(エコ農業)の取り組みはここ数年伸び悩んでいて、12万ha程度で推移しているとのことだ。農業全体の中で3%。一方有機農業については徐々に増加はしているものの、全体でみると0.5%にも達していない。諸外国に目を転じると有機食品の市場規模が年々拡大している。総売上高でみると、ドイツ1.1兆円、フランス6000億円、イギリス3200億円。アメリカは3.8兆円(食品市場の5%)となっている。韓国でも有機農産物の出荷量が増加している。それに引き換え、日本の有機食品の市場は小さく、約1300億円。食品市場の1%にも満たない。日本の消費

者の大部分は有機農産物を購入したいという意向を持っている。これを受けてアメリカのオーガニック推進団体が政府と連携して、日本への輸出の増大を模索しているとのことだ。日本の有機・エコ農業はなぜ停滞しているのか、どこに問題があるのか、立ちどまって、その原因を掘り下げなければならないと思う。日本は小農の国だ。国民の健康のため、日本の豊かな自然環境を守り、自然循環を持続的なものにするためにも有機・エコ農業は大きな鍵を握る。そのためには生産者と消費者の両方の立場に立って考えることが大事ではないか。

代表理事 阿部 義通

2月の活動報告

◇北千住ルミネ◇

新年度の屋上菜園の収穫野菜の利用についてルミネ北千住店とJ-キッズ保育園との間で打ち合わせを進めています。昨年度は園児と一緒に、ジャガイモ、サトイモ、サツマイモ、ダイコンの収穫をしました。新年度は園児だけでなく、保護者にも参加して頂いて、野菜収穫を行う予定です。

屋上菜園施設も一部手直ししたり、追加したりして一層の充実を目指します。



黒いシートの部分が追加スペース

◇三井住友海上火災保険屋上菜園◇

2月は「農閑期状態」です。3月4日(土)に、今後の屋上菜園の利用方針が同社より利用者の皆様へ伝えられます。屋上菜園の土の重量の関係で、今年の肥料は軽量化を図る必要があります。そのため液肥中心になります。今までと少し勝手が違ってきますが、その他の副資材は従来通りです。3月には屋上菜園に活気が戻ってくることでしょう。



エゴマカフェ現在工事中
4月オープン

◇エゴマ部会◇ 島根県川本町出張 2月23日～24日でエゴマの件で川本町に出張しました。

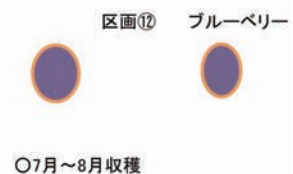
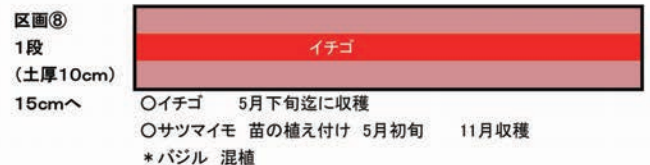
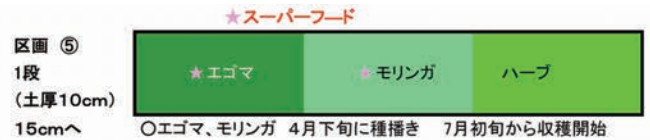
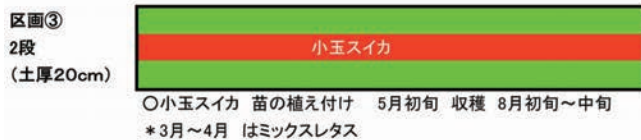
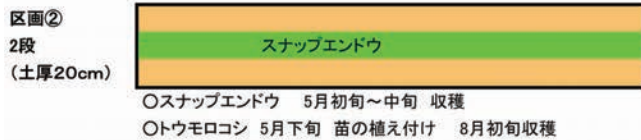
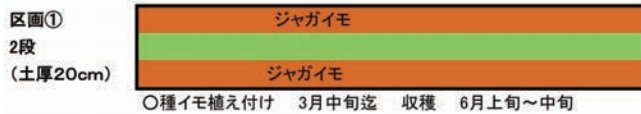
◎23日の晩は川本町をエゴマで一躍全国的に有名にした竹下さんご夫妻と会食をしながら、今後のエゴマプロジェクトの進め方について意見交換をしました。短期、中期、長期の計画について打ち合わせをした結果、まず川本町でエゴマカフェ「えごまの実」が4月にオープンするのに合わせて東京でも4月1日にエゴマの料理・健康教室を開催することになりました。料理のメニューは島根大学の指導を受けた「地中海式和食」です。竹下さんの奥様が講師で来られます。

◎24日は竹堆肥研究会の会長であり、「三原の郷づくりワークショップ」実行委員会会長の平田さんと税理士の奥さん、川本エゴマの会の釜田会長と打ち合わせを持ちました。JVECの地方創生分野と重なる部分が多く、今後交流関係を築いていくことを確認しました。

*平田さんはトヨタ自動車のシンクタンク「国際経済研究所」を定年退職され、川本町にUターンし、地元で「農山村自立」の活動に取り組まれています。

北千住ルミネ 屋上菜園新年度夏野菜栽培計画

今年の夏野菜の栽培計画です。今年もエゴマ、モリंगाを栽培します。モリंगाは移植には向いていないようですので、今年はやり方を変えます。昨年は主にスイカを中心に竹堆肥を使い、効果を確かめました。今年は竹炭を使う予定です。目的はうどん粉病などのカビに由来する病気を抑えるためです。



JVEC 関連ニュース

■三井住友海上火災保険株式会社・社会貢献活動団体から寄付
MS&AD ホールディングスの社員有志による社会貢献活動団体「ゆにぞんスマイルクラブ」からJVECに対する10万円の寄付が正式に決まりました。2月22日に振り込まれました。寄付の趣旨を大切に、有意義な使い道を考えてしたいと思います。

■HP 開設準備

JVECの情報発信力を高めるために現在のFacebook ページに加えてHPの制作作業を進めています。
4月1日の公開を目指しています。

3月の予定

□プレスト会議 3月16日(木) 午後5時半～7時半

1月26日(木)の拡大運営会議のメンバーで2回目のプレストを行います。会場はハゴロモビルの5階会議室です。アイデア出しのプレストですので、会員の方ならどなたでも参加できます。

□商店街の活性化を考えるシンポジウム

開催:3月7日(火) in 福岡

地方同志の連携、またコミュニティづくりをキーワードにして、講演、シンポジウムが行われます。JVECにとってはオープンネットワーク的な人脈を形成する機会になることが期待されます。

□神田ハゴロモビル屋上菜園ガーデン整備開始

中小ビルの屋上活用モデルとして、ハゴロモさんのビルの屋上を菜園ガーデン化するための準備を進めています。昨年施工した屋上菜園ガーデンをデザイン性も加えて一層見栄えよく、また活用しやすくします。

